

平成 29 年度 入学 試験 問題 (後期)

数 学

注 意

1. 合図があるまで表紙をあけないこと。
2. 問題右頁とその裏は計算に使用する。
3. 受験票は机に出しておくこと。

数 学 (後 期)

[1] 点 (a, b) を中心とする円 C は直線 $L: y = x - 1$ に接している。

(1) 円 C の半径の 2 乗を a, b を用いて表せ。

(2) C が更に曲線 $H: y = x^2$ にも点 $P\left(\frac{-1}{2}, \frac{1}{4}\right)$ で接している。このような円 C をすべて求めよ。ここで 2 曲線 C と H が点 P で接するとは、 P が 2 曲線の共有点で、 P における C の接線と H の接線が一致することである。

[2]

(1) a, b を $a < b$ なる実数とする。閉区間 $[a, b]$ で定義された連続関数 $f(x)$ が、逆関数 $f^{-1}(x)$ をもつとする。また $f(x)$ は開区間 (a, b) で微分可能で、導関数 $f'(x)$ も (a, b) で連続ですべての $x \in (a, b)$ について $f'(x) \neq 0$ と仮定する。

$c = f(a)$, $d = f(b)$ とおくと、次を示せ。

$$\int_a^b f(x) dx + \int_c^d f^{-1}(x) dx = bd - ac$$

(2) 閉区間 $[e, e^2]$ を定義域とする関数 $g(x) = \frac{1}{x \log x}$ は逆関数 $g^{-1}(x)$ をもつ(これは証明しなくて良い)。次の積分の値を求めよ。

$$\int_{\frac{1}{2e^2}}^{\frac{1}{e}} g^{-1}(x) dx$$

[3] 関数 $g(x) = e^x$ の合成関数 $f(x) = g(g(x))$ を考える。 n を自然数として、 $f(x)$ の n 次導関数を $f^{(n)}(x)$ と表すとき、以下の間に答えよ。

(1) $f^{(1)}(x)$, $f^{(2)}(x)$ を計算せよ。

(2) t の n 次多項式 $P_n(t)$ が存在して、それは定数項をもたず、次の関係式を満たすことを示せ：

$$f^{(n)}(x) = P_n(e^x) f(x)$$

(3) n が 2 以上のとき、 $P_n(t)$ の t および t^2 の係数をそれぞれ a_n, b_n と表す。 a_{n+1}, b_{n+1} を a_n, b_n によって表せ。

(4) n が 2 以上のとき、 a_n, b_n を求めよ。

[4] m, n を自然数として、それぞれ番号が付いている玉 $A_i (1 \leq i \leq m)$ と箱 $B_k (1 \leq k \leq n)$ がある。すべての玉 A_i をどれかの箱に入れた状態を玉の配置と呼ぶ。玉 A_i の入った箱の番号を N_i とする。次のそれぞれの条件を満たす異なる配置の数を求めよ。ただし、条件を満たす配置が存在しないときは配置の数を 0 とする。

(1) 何の条件もつけない。

(2) $i < j$ なら $N_i < N_j$ である。

(3) $i < j$ なら $N_i < N_j$ であり、どの $k (1 \leq k \leq n - 1)$ に対しても B_k と B_{k+1} の両方に玉が入っていることはない。

[5] 平面上の正三角形 $\triangle ABC$ の外心を O とし、 $OA = 1$ とする。その平面上の点 P について、 O を始点とする半直線 OP が辺 AB と交わり、 $0 \leq \angle POA \leq \frac{\pi}{3}$ とする。 $\theta = \angle POA$, $r = OP$, $a = PA$, $b = PB$, $c = PC$ とおく。

(1) a^2, b^2, c^2 を r と θ で表せ。

(2) 不等式 $a + b > c$ が成り立つための必要十分条件は下の不等式が成り立つことであることを示せ。

$$2bc > 1 + r^2 + 4r \cos \theta$$

(3) $r \neq 1$ ならば、 a, b, c を 3 辺の長さとする三角形が存在することを示せ。